

会議録

会議の名称	西東京市介護保険運営協議会第10回会議
開催日時	平成27年1月30日（金曜日） 午後1時35分から午後2時15分まで
開催場所	保谷庁舎 別棟A・B会議室
出席者	委員：市川委員長、須加副委員長、安倍委員、荒井委員、石井委員、伊藤委員、梅田委員、海老澤委員、椛島委員、北澤委員、 小林委員、指田委員、高岡委員、高橋委員、吉岡委員 欠席：清水委員、丸木委員、向山委員 事務局：高齢者支援課長、介護保険担当課長、以下9名
議題	(1) 第9回会議録の確認 (2) 介護保険料について
会議資料の名称	事前送付資料 西東京市介護保険運営協議会第9回会議録 資料1 介護保険料について 資料2 第1号被保険者保険料の算定 資料3 介護保険第1号被保険者の第6期計画保険料率・保険料設定（案） 当日配付資料 介護資料2 関連
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

議題 1 第 9 回会議録の確認について

○委員長：

第 9 回会議録の確認について、内容の変更、意見はあるか。

(意見なし)

変更、意見なしということで承認を得られたということで取り扱う。

議題 2 介護保険料について

○委員長：

介護保険料について事務局から説明をお願いします。

○事務局：

介護保険料について説明。(介護資料 1、2、3) 事務局から 4 つの案を示して、そのうちの 4 案を事務局として推薦する旨を申し添えた。

○委員：

4 つの案が示されて、自分の生活にあてはめると、私の生活は夫の年金が中心である。年金だけの生活の場合、不安があり、ある程度収入のある方に多く負担していただくのがよいと思った。年金自体が減っていく可能性があるという厳しい現状もある。一方で夫が介護認定と難病指定を受けており、経済的な面では、今後も不安を抱えながら生活していかなければならない状況の中であるが、様々なサービスを受けていくには、ある程度の負担も必要だと考える。4 案で了承する。

○委員：

在宅診療を行う中で感じていることだが、近隣市と比較しても西東京市の介護サービスは高いサービス水準だと思う。これを維持するためには一定程度の財源が必要であり、負担も必要になることから、保険料をこれ以上抑えることは難しいと思う。誰かが払わなければいけないのであり、高所得者には国基準より負担を多く、低所得者には国基準より負担を低くするなど、市の考えは妥当であると思う。

委員：

西東京市の介護サービスは充実していると治療を通じて感じている。西東京市は財布が小さいにもかかわらず、福祉についての貢献度が高い。また、西東京市は住民税非課税者が多い現状があり、負担能力に応じた支払いを求めることはやむを得ないと考える。介護保険は相互扶助の制度であり、4 案で良いと考える。

委員：

反対はしないが、微妙な所得段階にいる人が問題かと思う。例えば 2 割負担になる人もい

る。介護保険料も上がり、介護サービスの負担も2倍になる人が利用を控えるようになってしまわないか不安である。

○委員：

資料の2関連で1号被保険者の構成比とあるが、人数についてももう少し教えてほしい。

○事務局：

平成27年度だと高齢者人口約46,200人のうち、半数以上の約57パーセント、約26,300人が住民税非課税者（所得段階1～5）となる。1,000万円以上の16段階は約520人、17段階は約280人となっている。

○委員長：

4案について皆さん了承ということで良いか。

（全員賛成で一致）

4案で承認を得られたということで取り扱う。

その他

○事務局

今回の会議は2月5日木曜日午後1時から、保谷庁舎別棟会議室で行なわせていただきたい。

○委員長：

以上で、西東京市介護保険運営協議会を終了する。